通し番号	４６３２

分類番号	24-6B-21-22

系統豚を利用した交雑種雌の能力調査
［要約］　民間２社から購入した精液を利用し生産した大ヨークシャー種雄をユメカナエル雌に交配し得た交雑種雌の子豚平均体重はＬＷ(Ａ)が重いが、一腹平均総産子数、ほ乳開始頭数、離乳頭数はＬＷ(Ｂ)が多い。また、一日平均増体重及び100kg到達日齢のいずれもＬＷ(Ｂ)が早く、交雑種雌の作出にはＷ(Ｂ)が適していると考えられる。
神奈川県農業技術センター・畜産技術所　　連絡先　046-238-4056

［背景・ねらい］

ランドレース種系統豚ユメカナエル雌と民間業者の精液を交配して作出した大ヨークシャー種カナガワヨーク雄と交配して作出した交雑種の繁殖能力、産肉能力について調査し、系統豚の利用について検討する。

［成果の内容・特徴］

1　試験区の概要

大ヨークシャー種（カナガワヨーク、Ｗ）雌に民間業者（Ａ及びＢ）の精液を人工授精し得た雄２頭をランドレース種（ユメカナエル、Ｌ）雌３頭に人工授精し得た産子を試験に供した。２産目は雄と雌を１産目と入れ替えて人工授精した。

（ア）Ｗ(Ａ)：カナガワヨーク雌に民間業者Ａの精液を人工授精し得たＷ雄

（イ）Ｗ(Ｂ)：同様に民間業者Ｂの精液を利用して得たＷ雄

交雑種（ＬＷＤ）を作成するデュロック種種雄豚は当所で管理する１頭を用いた。

2　交雑種（ＬＷ）の発育及び体形調査結果（表１）

交雑種雌ＬＷ(Ａ)及びＬＷ(Ｂ)各３頭の一日平均増体重の平均はそれぞれ、766.6g、856.7g でありＬＷ(Ｂ)が有意に大きい。100kg 到達日齢は 160.7 日、151.1 日でありＬＷ(Ｂ)の発育が早かったが有意な差は認められない。

3　交雑種（ＬＷ）の繁殖調査結果（表２）

一腹平均総産子数、ほ乳開始頭数、離乳頭数はＬＷ(Ｂ)が多く、子豚平均体重はＬＷ(Ａ)が多い。

［成果の活用面・留意点］

［具体的データ］

表１　交雑種（ＬＷ）の発育及び体型調査結果

調査項目/頭数	H24年度生産					H23、24年度生産計				
	ＬＷ（A）		ＬＷ（B）			ＬＷ（A）		ＬＷ（B）		
一日平均増体重（ｋｇ）	766.6 ±19.2	(3)	856.7 ±29.9	(3)	＊	733.5 ±40.8	(6)	811.6 ±70.7	(6)	＊
100kg到達日齢（日）	160.7 ±4.8	(3)	151.1 ±3.8	(3)		167.5 ±8.7	(6)	102.8 ±76.8	(6)	
体　長	113.3 ±2.5	(3)	105.3 ±1.5	(3)	＊	113.3 ±2.3	(6)	108.3 ±3.9	(6)	＊
体　高	62.7 ±1.2	(3)	60.3 ±1.5	(3)		62.0 ±1.1	(6)	62.0 ±2.3	(6)	
胸　囲	107.3 ±0.6	(3)	109.0 ±1.0	(3)		107.7 ±2.1	(6)	107.0 ±3.2	(6)	
管　囲	16.7 ±0.6	(3)	18.0 ±0.0	(3)		16.5 ±0.6	(6)	17.8 ±0.4	(6)	＊
前　幅	32.7 ±0.6	(3)	33.0 ±0.6	(3)		32.7 ±1.0	(6)	33.3 ±0.8	(6)	
後　幅	33.0 ±1.0	(3)	33.3 ±0.6	(3)		33.7 ±1.0	(6)	33.5 ±0.6	(6)	
胸　幅	29.3 ±0.6	(3)	29.7 ±0.6	(3)		29.3 ±1.0	(6)	29.3 ±0.5	(6)	

平均値±標準偏差　()内は供試頭数　　平成25年3月31日現在

＊：p<0.05

表２　交雑種(ＬＷ)の繁殖調査結果

調査項目	合計		初産		２産	
	ＬＷ（A）	ＬＷ（B）	ＬＷ（A）	ＬＷ（B）	ＬＷ（A）	ＬＷ（B）
分娩種雌豚（頭）	6	8	5	6	1	2
一腹平均（頭）						
総産子数	8.3	10.1	8.2	9.3	9.0	12.5
ほ乳開始頭数	7.7	9.3	7.4	8.5	9.0	11.5
離乳頭数	7.3	8.9	7.0	8.5	9.0	10.0
育成率	95.7%	96.0%	94.6%	100.0%	100.0%	87.0%
子豚平均体重（ｋｇ）						
生時	1.7	1.5	1.7	1.5	1.7	1.5
３週齢	6.1	6.1	6.2	5.9	5.7	6.9
８週齢	17.4	15.0	17.1	14.1	17.9	17.5

平成25年4月30日現在

［資料名］　平成 24 年度試験研究成績書

［研究課題名］　系統豚の維持に関する試験

［研究期間］　平成 15～17 年度

［研究者担当名］　西田浩司、牧野　敬